

学校教育推進室だより

東大阪市教育委員会 学校教育推進室 令和7年1月10日

〒577-8521 東大阪市荒本北一丁目1番1号 TEL06-4309-3268

学校教育基本目標

すべての子どもに生きる喜びとあすをつくる力を

重点目標

総合的視点に立つ教育の推進

人権尊重に徹した教育の実践

「探究と対話」をもとに学び続ける教職員へ

信頼に応える学校づくり

学校園・家庭・地域の協働

東大阪市の学校にトップアスリートが来てくれました!

この事業は、日本トップクラスで活躍するアスリートが、実技指導を行うとともに、競技経験や様々な体験から感じたことを伝えることで、子ども達がスポーツの魅力を知り、ともに楽しみながら「わかる・できる」を体感することができるよう、スポーツ庁主催で実施されているものです。

東大阪市の学校にも著名な選手が来てくださり、直接指導して下さるだけでなく、自身の経験から、子どもたちを勇気づける力強いお話をしていただきました。

実施校…小阪小・高井田中

高橋勇市選手 マラソン(視覚障害クラス)

アテネパラリンピック金メダリスト

夢を諦めない大切さを教える授業

高橋選手は、高校生の時に目の難病が発病し、視力が低下し失明されましたが、そこから本格的にトレーニングを始め、多くの記録を樹立されました。



幼少期にマラソンと出会ったきっかけや最初は走ることが苦手だったことなどをお話しされ、お話を聞いた子どもたちは驚いていました。また、人々との出会いが、節目節目で貴重な経験であったことなどについてもお話しされ、出会いを大切にすること、決してあきらめないことを伝えていただきました。

実技指導では、伴走者役と視覚障害者役に分かれ、それぞれの走り方について体験しました。伴走者役の子どもたちが、戸惑いながらもどのように相手に寄り添えばよいか考えながら動いている姿が印象的でした。



土橋ココ選手 体操

元体操日本代表・東京オリンピック PR 映像出演[2016年オリンピック閉会式映像]



『自分で考えて行動する』『好きなことを見つける大切さ』を教える授業

土橋選手は、一度、現役を引退した後に、2028年のロサンゼルスオリンピック出場を目標に掲げ、活動を再開(現役復帰)されました。

当日、緊張感の漂う子どもたちに、土橋選手は明るく朗らかな雰囲気ですべてを語り、すぐに打ち解けた雰囲気になりました。

実技指導では、マット運動に少し苦手意識もある子どもたちもいましたが、土橋選手から細かく説明を受けるうちに、自然と体の動きを習得することができる場面があり、うれしそうな笑顔を浮かべて、積極的にマット運動にチャレンジする様子が見られました。

プロの演技に感動した子どもたちは、土橋選手のお話にも真剣な様子で聴き入り、自分で考え行動すること、楽しみながら頑張ることの大切さを教えてもらいました。



トップアスリートから学ぶ機会を得て、アスリートの生の声、演技にふれることで、多くの子どもたちが感銘を受けていました。東大阪市から世界に羽ばたく大きな力を与えてくれる充実した時間となりました。

モノづくり体験教室の実施

モノづくり体験教室は、平成14年度より、地元企業で組織されているNPO法人地域活性化支援機構・モノづくり支援室・教育委員会が連携し、東大阪市立小学校の児童を対象に毎年実施しています。

今年度は市内39小学校、延べ3,742名の児童に対して、企業の社員の方が講師として学校へ訪問し、現在実施されているところです。

子どもたちにとっては、地元企業の活動を知り、様々な道具を使いモノづくりの楽しさを実体験するなど、「モノづくりのまち 東大阪」にふれる貴重な機会となっています。

また、こういった機会を通して、子どもたちが将来の夢や目標を持ったり、自分の将来の展望を見据えたりすることへの一助となることを願っています。

今年度の実施講座（全15講座）

- ワイヤーアート ○紙袋製作 ○磁石 ○めっき加工 ○ひな工作 ○紙バネ
- グッズ工作 ○ネジの仕組み ○工具 ○段ボール貯金箱 ○プログラミング入門
- 作図・サイコロを作ろう！ ○ミノルキューブ ○レザークラフト ○ロケットを創ろう



ミノルキューブ



ひな工作

【子どもたちの感想】

- ・わからないことがあり、何度も聞いてしまったけど、本当に楽しかったです。私はモノづくりが好きなのでとても良い時間でした。
- ・講師の方が丁寧に教えてくださり、完成することが出来ました。できた作品を大切にしたいです。
- ・私にも得意なことがあるんだと発見できました。楽しかったです。またやりたいです。
- ・使ったことのない工具を使えたことや、知れたことが楽しかったです。
- ・簡単にできるだろうと思っていましたが、本格的でびっくりしました。説明を聞きながら完成できたので良かったです。

豊かな言語活動を通じた、外国語学習による小中の学びのつながり

令和6年11月25日（月）、東大阪市教育センターにて、第2回外国語担当教員連絡協議会を開催しました。市立小中学校・義務教育学校の外国語担当教員が参加し、令和6年度東大阪市英語教育推進テーマ『主体的に伝え合う発信力と即興力の育成～豊かな言語活動を通して～』のもと、次の内容で研修を行いました。



参加教員が児童生徒役となり、相手意識をもって取り組める学習活動や、即興的なやりとりを中心とした授業の展開について体験的に学びました。

【参加者の感想】

- 『子どもが、英語で何ができるようになるのか』目標を明確に設定し、単元をデザインすることの大切さが分かりました。
- 中学校区で、小学校6年生の単元計画と一緒に作成する中で、小中それぞれのゴールを共通理解することができました。今後見直しをもって授業づくりを行いたいです。
- 『子どもが本当の考えや気持ちを英語で伝える場面を授業の中で作り出すこと』『トライ&エラーを通して英語を使いながら学ぶこと』を今後の授業で意識していきたいです。

小学校6年生外国語科の単元『I want to be a singer～将来の夢を伝えよう～』におけるパフォーマンステストの内容や、単元デザインについて協議し、中学校区それぞれの単元計画を作成しました。